

学年を超えた就職支援システムの構築

赤木 里騎* 福島 亮* 徐 海燕*
福岡工業大学 *情報工学部情報工学科

1 はじめに

本大学には就職支援の 1 つに内定報告書を閲覧できる Sugoole システムがある。本研究室が開発した 2008 年度以降より本学学生を対象として運用している[1,2]。現在では約 2500 件の内定報告書が登録されているが、毎年 1000 人近く就職する本学において、高い登録率とは言えない。この原因として Sugoole の認知度の低さと、Sugoole に登録されているデータから利用者に対してのフィードバックが少ないことが考えられる。そこで本研究は Sugoole の認知度向上のために、就職活動生が対象となっていたものを 1 年生からでも使用できるようにし、利用者の拡大を目指す。また利用者へのフィードバックとして、現状の問題の改善と、登録データの分析を行い可視化して提供する。

2 全体の構想

これまでの Sugoole ではログインした後、誰でも内定報告書検索を行うページに遷移していたが、全学年を対象とする新 Sugoole (図 1) では学年ごとに専用の画像とリンクを差し込んでいる。これにより利用者自身で遷移するページを選択できる。図 1 の上から 2 つの列は先輩のアドバイスを閲覧できる、上から 3 つ目の列



図 1 新 Sugoole のトップページ

はなんでも書き込むことができる掲示板、1 番下の列は、従来の内定報告書検索を行うページに遷移する。

3 学年ごとの特色

3.1 先輩のアドバイス閲覧システム

1、2 年生向けのページは就職課と相談して選んだ各学科の就職活動を終えた先輩一人ずつに対して個別にインタビューを行い、まとめたものを載せている。インタビュー内容は「1、2 年生の時にしておけばよかったこと」、「1 年生の時の 1 日のスケジュール」など、異なる学年、十数人と相談して考えたものである。図 2 は閲覧時の様子である。



図 2 先輩のアドバイス閲覧

さらに、このページではアドバイス頂いた先輩が書いた内定報告書へのリンクを貼り、本学の先輩がどのようにして内定を取れたのかを閲覧できる。また、報告書の存在を認識してもらうことで、1、2 年生が就職活動を行う際に 1 つのツ

ールとして Sugoole を選択してもらうことを狙う。

3.2 リアルタイム掲示板

3 年生向けのページは、どんなことについても書き込むことのできる掲示板を作成した。データベースにタイトルと書き込む内容を納める 2 つのテーブルを作り、関連付けることで、利用者はタイトルを書き込み、掲示板を作った後その掲示板の中に質問したいことを書き込めるようにしている。掲示板を作った人と発言者が同じであれば質問者として、そうでなければ解答者として表示される。(図 3)

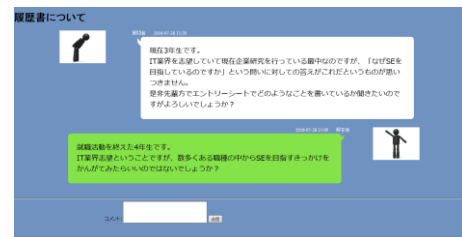


図 3 掲示板のサンプル

3.3 検索エンジンの強化とデータの可視化

4 年生向けのページは、従来から使用されてきた内定報告書検索システムの改善と蓄積されたデータを分析して可視化を行った。改善の内の 1 つとして検索エンジンの強化を行った。これまでは 6 文字を超えた検索ではうまく挙動しなかったが、正規表現を改良することで改善できた。他にも検索入力時に自動補完機能を付け、検索時のストレスを軽減させた。図 4 は PHP ライブラリの jgraph を用いて 2015 年の内定獲得社数を棒グラフとして可視化したものである。

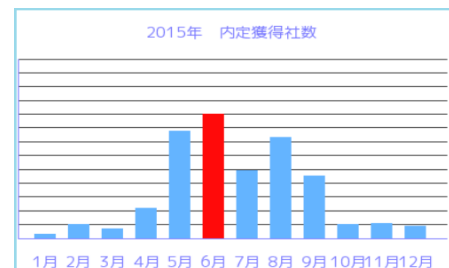


図 4 2015 年内定獲得社数

4 まとめ

本研究は Sugoole の認知度向上のために 1、2 年向けに先輩のインタビューを盛り込んだページを、3 年生向けに、気になることをリアルタイムで聞くことができる掲示板を作成した。4 年生向けには検索エンジンの強化と分析データの可視化を行った。現在 PC での利用を想定してシステムを構築しているため、今後はスマホ対応にしたり、アプリで内定報告書を閲覧したりできるようにしていく予定である。

参考文献

- [1] <http://Sugoole.fit.ac.jp/Sugooles/bin/0index.php>
- [2] 垂水春樹、大楠拓也、白川勇気、徐海燕: 就職活動登録閲覧 web システムの開発および利用状況に関する分析、情報処理学会研究報告 第 127 回コンピュータ教育研究会、2014 年 12 月